

東恩納組 東恩納 厚 会長



ひがしおんな・あつし 1956年那覇市生まれ。帝京大学医学部卒。琉大附属病院、与那原中央病院勤務を経て、94年東恩納胃腸科内科開業。2011年、父の意向で東恩納組経営に参画。16年に医院を閉じ、建設業経営に専念。

①順理則裕 ②仕事 ③特になし

志一つに全職員で理念にまい進

「2019年を振り返ると、令和元年の昨年を振り返ると、国内的には大雨や台風被害、数々の痛ましい事件に何とも気が重い一年でした。また、米中貿易戦争や日本と韓国の関係悪化など課題山積の年だったと思います。」

10月31日未明に起きた冒頭の火災には胸がふれる思いでした。首里城は国民の心のよりどころです。早期の再建に向けて私たちも微力ながら尽力させて頂きたいと思えます。

当社の1年の業績を振り返ると、完工高は47億6千万円で売上高総利益率(粗利益率)は6.2%と低く、目標とする売上高50億円、粗利益率10%を達成できませんでした。粗利益率の低下は業特有の低価格競争注目が大き

な原因であることは言までもありません。しかし、低価格競争に負けない中期短縮や原価低減化に向けて、より一層の努力を今後も続けなければいけないと考えています。

「2020年の方向性は、」

昨年、「顧客から選ばれる会社」にすると申し上げましたが、今年はそのような案件がいくつか控えています。これまで社員一同が真摯に建に向き合い切磋琢磨し、安全第に細部まで行き届いた建物造りをしてきた結果

だと考えています。完成した医療法人八重瀬会様の看護施設「やせAsssemble Garden」、沖縄ホーメル様の工場や新・中部協同病院は客観的に見ても完成度の高い建築物が出来たと自負しています。今後

も「建築は細部にあり」をモットーに努力を重ねて行きます。

「将来の方向性は、」

昨年7月に息子が取締役候補部長に就きました。東京大学を以て積水化学の研究所に勤めていたのですが、次期後継者として声を掛け、「いちゃんか創つて文が立て直した会社を僕が大きくします」の返答を受けました。スマートで社交性があり、性格も穏やかで包容力がある。今後の弊社の発展に寄与すると確信しています。

この先の建設業界は高額の離職や生産年齢人口の減少など深刻な人手不足に陥ります。実際に建設現場で働く技能者は2025年には200万人にまで減少すると言われています。将来の予測が厳しい業界で生き残るには

労働環境を整備し、労働生産性を上げるのが必須となります。

人が好き 建築が好き



企業理念 人につくし・自然とともに・社会のために
建築理念 人を守り、心地よく、美しい家造りで明日を楽しみます。
株式会社 東恩納組 www.higashionna.co.jp
[営業本部] 鹿児島市平岡安594番地